

OTSU WATER PLANET

母なる琵琶湖の水に恵まれた大津市の水道を「水の惑星」に見立て、「Otsu Water Planet」として、3つの動画が完成しました。

浄水場で作られた水が、水道管を通して家の蛇口から出ること。つまり、蛇口と琵琶湖はつながっています。

琵琶湖の恵みに感謝し、あたり前の日常を送るために必要な水道水について、ぜひ、この動画で学んでください。

Part 1 Water museum

「君に知ってほしい水のこと」

いつでもどこでも手に入る水はあたり前じゃない。水道水が安全に飲める国は少なく、水道管が家まで届いていない国では、子ども達が水を家まで運ぶ時間が勉強する時間や遊ぶ時間を奪っている。琵琶湖がある大津で、わたし達が今、未来のために出来ることは何か考えてみよう。

目的 ▶▶ アニメーションでわかりやすく、「世界と日本」を比べながら水の大切さを学び、SDGsのことを学んでもらう。



Part 2 Water journey

「水道水が届くまで」

日々の生活に欠かすことのできない水道水。水道水は長い道のりを経て、皆さんのところに届きます。たくさんの方が安心して安全な水を届けるため、そしてあたり前の生活を守るために昼夜問わず働いています。どうやって琵琶湖の水が水道水になっているのか。さあ、蛇口の向こう側を知る旅にでかけましょう。

目的 ▶▶ ドローンを使った映像と、難しい言葉を使わないナレーション、水の中の様子はアニメーションで、水が届くまでを学んでもらう。



Part 3 Water works stories

「みんなが知らない浄水場のセカイ」

特別に許可を得たリポーターが浄水場に潜入！緊急時に活躍する給水車、休みなく浄水場や街の水量を監視する中央監視室、メダカに手伝ってもらっている水質検査、水だけでなく土を循環する取り組みなど、働く人から聞く4つのストーリー。今まで知られることなかった浄水場のセカイをのぞいてみよう。

目的 ▶▶ リポーターと職員がインタビュー形式で面白くわかりやすく、普段見ることのできない仕事内容を知ってもらう。



※YouTubeを通じた視聴における通信料は各自のご負担となります。 大津市企業局